

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第25期第1四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社エム・エイチ・グループ

【英訳名】 M・H・GROUP LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤文彦

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目11番1号

【電話番号】 03(5411)7222

【事務連絡者氏名】 取締役 小林繁之

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目11番1号

【電話番号】 03(5411)7222

【事務連絡者氏名】 取締役 小林繁之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第1四半期 連結累計期間	第25期 第1四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日
売上高 (千円)	542,140	515,850	2,045,104
経常利益 (千円)	7,986	34,707	127,826
四半期(当期)純利益 (千円)	3,169	24,814	73,806
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,162	24,833	79,752
純資産額 (千円)	600,465	674,023	677,055
総資産額 (千円)	1,283,495	1,335,749	1,380,170
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	0.28	2.23	6.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	46.8	50.5	49.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、第24期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策を受けて、株価の回復、円高の是正などにより輸出関連企業を中心とした業績の改善、個人消費の持ち直し等、景気回復の兆しが見られました。しかしながら、欧州における金融不安の長期化や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する美容業界におきましても、景況感の改善から今後の伸びが期待されるものの、個人消費の回復は未だ限定的であり、引き続き厳しい環境に置かれています。

このような状況のもと、当社グループは、BSサロン運営事業におきましては引き続き店舗設備リースを活用した出店を着実に進め、直営サロン運営事業におきましては移転・統合を行う一方でサロンスタッフの独立による直営サロンのBSサロン化により収益力の安定化を図って参りました。また、例年9月に開催しておりました「モッズ・ヘアコレクション」の開催時期を2月に変更したこと、及び株主優待関連費用の計上が10月以降にずれ込んだことにより販売管理費が大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高及び売上総利益は僅かに減少したものの営業利益は大幅に増加し、売上高515,850千円（前年同期比4.8%減）、営業利益31,559千円（前年同期比294.8%増）、経常利益34,707千円（前年同期比334.6%増）、四半期純利益24,814千円（前年同期比682.9%増）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

（直営サロン運営事業）

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン13店舗、準直営サロン（業務委託サロン）2店舗の計15店舗を展開しております。当第1四半期連結累計期間におきまして、多摩店、相模大野店、名古屋栄店が直営サロンスタッフの独立によりBSサロンへ転換いたしました。また、横浜店を横浜西口店との統合により閉店いたしました。

直営サロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、281,501千円（前年同期比19.9%減）、セグメント利益は、10,040千円（前年同期比32.4%増）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第1四半期連結累計期間におきましては、国内では新規出店が2店舗、直営サロンからの転換が3店舗、閉店が3店舗となりました。海外におきましては韓国・ソウル (Seoul) において2店舗を新規出店いたしました。その結果、当第1四半期会計期間末日現在において、国内73店舗、韓国23店舗、台湾3店舗の計99店舗となっております。

BSサロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、197,333千円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は、74,214千円（前年同期比24.6%増）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

ヘアメイク事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、48,697千円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は、3,470千円（前年同期比95.0%増）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、国内88店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は引き続き順調に伸びており、その他の当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,646千円（前年同期比25.4%増）、セグメント利益は、3,334千円（前年同期比19.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ44,421千円減少し、1,335,749千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少75,368千円、リース投資資産の増加40,535千円などによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ41,389千円減少し、661,725千円となりました。主な要因としましては、未払金の減少36,188千円、買掛金の増加9,607千円、未払法人税等の減少9,764千円などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,031千円減少し、674,023千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益24,814千円、配当金の支払27,865千円などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,332,100	11,332,100	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,332,100	11,332,100	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日 (注)	11,218,779	11,332,100	—	500,000	—	—

(注) 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、発行済株式総数が11,218,779株増加し、11,332,100株となっております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,861	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 111,460	111,460	(注)
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	113,321	—	—
総株主の議決権	—	111,460	—

(注) 1. 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。なお、上記は分割前の株式数にて記載しております。

2. 上記「完全議決権株式(その他)」の「株式数(株)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が81株含まれております。また、「議決権の数(個)」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数81個が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社エム・エイチ・グループ	東京都渋谷区千駄ヶ谷 一丁目11番1号	1,861	—	1,861	1.64
計	—	1,861	—	1,861	1.64

(注) 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。なお、上記は分割前の株式数にて記載しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人よつば総合事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	309,086	233,717
売掛金	111,207	110,832
商品	64,992	60,275
未収入金	300,499	287,002
繰延税金資産	57,526	60,923
その他	36,289	49,013
貸倒引当金	△5,350	△4,431
流動資産合計	874,250	797,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	395,472	330,478
減価償却累計額	△236,935	△182,261
建物及び構築物 (純額)	158,536	148,217
工具、器具及び備品	93,470	96,208
減価償却累計額	△75,839	△72,535
工具、器具及び備品 (純額)	17,631	23,673
その他	5,110	5,110
減価償却累計額	△3,403	△3,601
その他 (純額)	1,706	1,509
有形固定資産合計	177,874	173,399
無形固定資産		
のれん	1,950	1,706
その他	188	178
無形固定資産合計	2,139	1,884
投資その他の資産		
投資有価証券	11,863	11,882
関係会社株式	15,404	15,404
長期貸付金	75,513	74,925
差入保証金	213,844	215,103
リース投資資産	76,159	116,694
繰延税金資産	4,421	—
破産更生債権等	6,907	6,907
その他	5,625	5,458
貸倒引当金	△83,833	△83,245
投資その他の資産合計	325,905	363,131
固定資産合計	505,920	538,416
資産合計	1,380,170	1,335,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,077	18,685
未払金	423,616	387,428
未払費用	44,461	44,448
未払法人税等	11,789	2,025
未払消費税等	12,934	9,391
その他	22,228	22,537
流動負債合計	524,108	484,516
固定負債		
長期未払金	41,958	39,172
受入保証金	133,240	134,240
資産除去債務	3,643	3,650
その他	164	147
固定負債合計	179,006	177,209
負債合計	703,115	661,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	98,072	95,022
自己株式	△25,737	△25,737
株主資本合計	676,950	673,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	124
その他の包括利益累計額合計	105	124
純資産合計	677,055	674,023
負債純資産合計	1,380,170	1,335,749

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	542,140	515,850
売上原価	413,147	387,364
売上総利益	128,992	128,486
販売費及び一般管理費	120,998	96,926
営業利益	7,993	31,559
営業外収益		
受取利息	23	37
為替差益	—	380
貸倒引当金戻入額	—	918
受取遅延損害金	215	—
受取手数料	—	1,661
その他	85	148
営業外収益合計	323	3,147
営業外費用		
為替差損	233	—
その他	96	—
営業外費用合計	330	—
経常利益	7,986	34,707
特別損失		
固定資産売却損	—	21
店舗閉鎖損失	—	6,447
特別損失合計	—	6,469
税金等調整前四半期純利益	7,986	28,238
法人税、住民税及び事業税	4,287	2,399
法人税等調整額	529	1,024
法人税等合計	4,817	3,424
少数株主損益調整前四半期純利益	3,169	24,814
四半期純利益	3,169	24,814

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,169	24,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	19
その他の包括利益合計	△7	19
四半期包括利益	3,162	24,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,162	24,833
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	
減価償却費	11,126千円	減価償却費	6,365千円
のれんの償却額	243	のれんの償却額	243

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月20日 取締役会	普通株式	22,292	200.00	平成24年6月30日	平成24年9月28日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月15日 取締役会	普通株式	27,865	250.00	平成25年6月30日	平成25年9月11日	利益剰余金

(注) 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。
なお、1株当たり配当額については株式分割前の金額を記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	351,580	170,019	43,171	564,771	9,285	574,056	△31,916	542,140
セグメント利益	7,583	59,566	1,780	68,929	2,796	71,726	△63,732	7,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△63,732千円には、棚卸資産の調整額△134千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,597千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	281,501	197,333	48,697	527,532	11,646	539,179	△23,328	515,850
セグメント利益	10,040	74,214	3,470	87,725	3,334	91,059	△59,500	31,559

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△59,500千円には、棚卸資産の調整額373千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,873千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円28銭	2円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	3,169	24,814
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	3,169	24,814
普通株式の期中平均株式数 (株)	11,146,000	11,146,000

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年8月15日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額…………… 27,865千円

(ロ) 1株当たりの金額…………… 250円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……平成25年9月11日

- (注) 1. 平成25年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。
2. 平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。なお、配当の基準日が平成25年6月30日であることから、上記金額は株式分割前の数値を記載しております。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社エム・エイチ・グループ
取締役会 御中

監査法人 よつば総合事務所

指 定 社 員 公 認 会 計 士 神 門 剛 ④
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 高 屋 友 宏 ④
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エム・エイチ・グループの平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エム・エイチ・グループ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。